

令和6年度 桃陽総合支援学校 後期学校評価アンケート

確かな学力	健やかな身体	豊かな心		教職員	よく出来ている 大体出来ている あまり出来ていない 出来てない				保護者	よく出来ている 大体出来ている あまり出来ていない 出来てない わからない					児童生徒	そう思う 大体そう思っている あまり思っていない 思わない					病院等関係者	よく出来ている 大体出来ている あまり出来ていない 出来てない わからない					
					よき出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来てない		よき出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来てない	わからない		よき思っている	大体そう思っている	あまり思っていない	思わない	よき思っている	大体そう思っている	あまり思っていない	思わない	よき思っている	大体そう思っている	あまり思っていない	思わない
学習について				①児童生徒の基礎的な学力の向上を目指した指導を行う。	17.0%	75.0%	4.0%	4.0%	②子どもが学習内容を理解し、基礎的な学力をつける	31.0%	46.0%	20.0%	3.0%	0.0%	②勉強はよくわかる	23.0%	57.0%	16.0%	4.0%	③導入されたICT機器等を有効に活用し、工夫した授業がされている	19.0%	46.0%	2.0%	0.0%	31.0%		
				③子どもがICT機器を利用できるように指導する	32.0%	54.0%	14.0%	0.0%	⑤書籍や新聞タブレットなどを利用して、必要な情報を収集する	34.0%	43.0%	14.0%	6.0%	3.0%	⑤私は本や新聞タブレットを使い、調べたり考えたりしている	47.0%	30.0%	23.0%	0.0%								
				④自主学習が習慣づく指導を行う	11.0%	43.0%	42.0%	4.0%	⑥子どもが自主学習の習慣を身に付ける	18.0%	31.0%	31.0%	20.0%	0.0%													
				⑪わかりやすい授業づくりを工夫する(ICTの有効活用を含む)	18.0%	74.0%	4.0%	4.0%	⑫学校がわかりやすい授業を工夫する	52.0%	34.0%	3.0%	0.0%	11.0%	⑫GIGA端末や電子黒板を使って学習することでよくわかる	43.0%	40.0%	13.0%	4.0%								
				①子どもが楽しく学校(リモート学習を含む)に通う	51.0%	37.0%	9.0%	3.0%	0.0%	①学校生活は楽しい	39.0%	46.0%	11.0%	4.0%	①児童生徒は楽しく学校生活を送っている	35.0%	63.0%	2.0%	0.0%	0.0%							
				②子どもが相手を意識して聞いたり話したりできるように指導する	18.0%	78.0%	4.0%	0.0%	④子どもが相手に伝わるように話す	20.0%	66.0%	11.0%	3.0%	0.0%	④私は思ったことや考えたことを話している	27.0%	60.0%	9.0%	4.0%	④来校したとき児童生徒は挨拶する	19.0%	35.0%	10.0%	2.0%	31.0%		
				⑤子どもがすすんで挨拶できるように指導する	14.0%	66.0%	20.0%	0.0%	⑦子どもがあいさつをする	26.0%	57.0%	14.0%	0.0%	3.0%	⑥私は自分からすすんであいさつしている	27.0%	57.0%	10.0%	6.0%								
				⑥子どもが場に応じた言葉づかいができるように指導する	17.0%	69.0%	14.0%	0.0%	⑧子どもが場に応じた言葉づかいをする	26.0%	57.0%	11.0%	3.0%	3.0%	⑦場面に応じた言葉づかいをしている	27.0%	53.0%	20.0%	0.0%								
				⑨子どもが協力し合って取り組めるような活動を計画立案する	11.0%	79.0%	10.0%	0.0%	⑩子どもたちが協力し合って、学校生活をおくる	34.0%	49.0%	6.0%	0.0%	11.0%	⑨相手の人の気持ちを考え行動している	36.0%	50.0%	10.0%	4.0%								
				⑧行事のねらいを明確にし、子どもにとって意義のあるものにする	21.0%	72.0%	7.0%	0.0%	⑪学校行事が子どもにとって意義のあるものになつている	54.0%	29.0%	11.0%	0.0%	6.0%	⑩友だちと一緒に活動すると楽しい(TV会議などの活動も含む)	55.0%	35.0%	10.0%	0.0%	②学校行事において児童生徒は生き生きした活動の様子が見られる	44.0%	46.0%	2.0%	0.0%	8.0%		
生活について				⑦社会のルールや生活のマナーが守ることができるように指導する	21.0%	75.0%	4.0%	0.0%	⑨子どもが社会のルールを守り、生活のマナーを身に付ける	29.0%	57.0%	9.0%	0.0%	3.0%	⑧学校の決まりや約束を守っている	47.0%	37.0%	16.0%	0.0%	⑤児童生徒は社会のルールを守り生活のマナーを身につけている	13.0%	56.0%	16.0%	0.0%	15.0%		
				⑬子どもが自分の健康管理に気を配れるように指導する	36.0%	57.0%	7.0%	0.0%	⑭子どもが自分の身体のことを気を付けて活動する	31.0%	49.0%	14.0%	6.0%	0.0%	⑮病院の先生や看護師さんの言われたことを守る	30.0%	60.0%	6.0%	4.0%								
				⑩子どもの良いところを見つけほめる	55.0%	41.0%	4.0%	0.0%						⑪自分自身のことを好きである	33.0%	27.0%	27.0%	13.0%									
				⑫子どもの相談に適切に応じ、内容を共有している	29.0%	64.0%	7.0%	0.0%	⑬子どもが家族や先生に自分の思いを伝える	29.0%	57.0%	14.0%	0.0%	0.0%	⑭私の悩みや困りごとを聞いてくれる人がいる	47.0%	37.0%	12.0%	4.0%	⑥教職員に連絡や相談がしやすい	25.0%	54.0%	15.0%	4.0%	2.0%		
				⑭子どもに関することを主治医やスタッフと十分話し合い、個別の包括支援プランにいかす	18.0%	71.0%	11.0%	0.0%	⑮学校が個別の包括支援プランについて、わかりやすく説明する	34.0%	43.0%	6.0%	0.0%	14.0%	⑯学校生活や行事に自分なりの目標をもって参加している	23.0%	40.0%	30.0%	7.0%								
自己理解・キャリア発達に関するこ				⑮個別の包括支援プランを適切に修正・更新し懇談会やカンファレンスに生かす	11.0%	68.0%	21.0%	0.0%	⑯短期目標が設定されている/子どもにあった自立活動の短期目標が設定されている	46.0%	34.0%	0.0%	3.0%	17.0%					⑦桃陽総合支援学校のホームページを見たことがある	6.0%	17.0%	8.0%	56.0%	10.0%			
				⑯教育活動の情報をタイムリーにホームページなどで知らせる	18.0%	55.0%	10.0%	17.0%	⑰学校だよりやホームページをなどを見ると、学校の様子がよくわかる	40.0%	51.0%	6.0%	3.0%	0.0%					⑧学校だよりやホームページを見ると、学校の様子がよくわかる	10.0%	27.0%	15.0%	6.0%	42.0%			
				⑰学校経営方針に基づく予算を立案し、効果的な執行をする	24.0%	66.0%	10.0%	0.0%	⑱学校が預り金や就学奨励費について十分な説明をする	54.0%	40.0%	3.0%	0.0%	3.0%					⑨学校・家庭・病院・地域が連携して学校づくりをしている	23.0%	52.0%	15.0%	2.0%	8.0%			
				⑲保護者・病院・地域との連携を密にして、より開かれた信頼される学校づくりを推進する	18.0%	71.0%	11.0%	0.0%	⑲学校・家庭・病院・地域が連携して子どもたちを育てている	68.0%	20.0%	6.0%	0.0%	6.0%													
				⑳近隣地域との交流を通して社会の一員であることを実感できる活動を実施する	8.0%	64.0%	21.0%	7.0%																			
				㉑児童生徒や保護者に係る個人情報の管理に細心の注意を払う	52.0%	48.0%	0.0%	0.0%																			
				㉒児童生徒が安全に学校生活をおくことができるよう定期的に点検や修繕を行っている。	28.0%	68.0%	4.0%	0.0%																			
前期と比較すると全体を通して肯定的な回答の割合が高くなっている。まだ否定的な回答の割合が少くはないが、「生活について」の⑤「子どもがすすんで挨拶ができるように指導する」⑥「子どもが場に応じた言葉づかいができるように指導する」の肯定的な回答の割合は前期と比べると高くなっている。この項目は、本校の課題のひとつではあるので、引き続き取組を行っていく。少しでも子どもたちが自主学習の習慣を身に付けてほしいとする。今後も子どもたちの成長を図るべく保護者と協力し合って、教育活動を進めたい。																											
前期と比較すると、全体を通して多少の割合の変動あるもの、大きくなっている。項目⑥「子どもが自主学習の習慣を身に付ける」は、まだ否定的な回答の割合は高いものの、前期と比べると肯定的な回答の割合が高くなっている。この項目は、本校の課題のひとつではあるので、引き続き取組を行っていく。少しでも子どもたちが自主学習の習慣を身に付けてほしいとする。今後も子どもたちの成長を図るべく保護者と協力し合って、教育活動を進めたい。																											
前期と比較すると、全体を通して、多少の割合の変動あるもの、大きくなっている。日々の取組の積み重ねにおいて、一人一人の子どもたちの成長が促されてきたのでは考える。日々、子どもたちは何かしらの悩みや困りごとを抱えて過ごしていると思われる。悩みや困りごとを自分自身で抱え込まぬでなく、聞いてくれる、話すことができるという存在は大事であると考える。今後も子どもたちとともに歩んで行きたいと考える。																											
【全体を通して】																											

確かに